

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2006-231776(P2006-231776A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-51371(P2005-51371)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月25日(2008.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録素子を有する記録ヘッドを搭載可能であり、前記複数の記録素子を分割したブロックを、生成した駆動パルスに応じて順次駆動させて記録を行う記録装置であって、前記ブロックにおいて同時に駆動される記録素子数と所定の閾値とを比較する比較手段と、

前記比較手段による比較の結果に基づき、記録素子が前記所定の閾値を越えて同時に駆動された駆動回数を計測する計測手段と、

前記計測手段により計測された駆動回数に基づき、基準となるパルスデータに補正パルスデータを加算して、パルス幅を補正した駆動パルスを生成する生成手段と、

を有することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記計測手段は、前記比較手段による比較の結果、同時に駆動される記録素子数が前記所定の閾値を超えた場合は駆動回数をカウントアップし、前記所定の閾値を超えない場合は駆動回数をカウントダウンすることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記生成手段は、前記計測手段により計測された駆動回数が所定の第 2 の閾値を超えた場合、基準となるパルスデータに補正パルスデータを加算して、パルス幅を補正した駆動パルスを生成することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、前記計測手段により計測された駆動回数に応じて異なる補正パルスデータを基準となるパルスデータに加算することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

複数の記録素子を有する記録ヘッドを搭載可能であり、前記複数の記録素子を分割したブロックを、生成した駆動パルスに応じて順次駆動させて記録を行う記録装置における記録制御方法であって、

前記ブロックにおいて同時に駆動される記録素子数と所定の閾値とを比較する比較工程と、

前記比較工程における比較の結果に基づき、記録素子が前記所定の閾値を越えて同時に

駆動された駆動回数を計測する計測工程と、

前記計測工程において計測された駆動回数に基づき、基準となるパルスデータに補正パルスデータを加算して、パルス幅を補正した駆動パルスを作成する生成工程とを備えることを特徴とする記録制御方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の記録制御方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

すなわち、複数の記録素子を有する記録ヘッドを搭載可能であり、前記複数の記録素子を分割したブロックを、生成した駆動パルスに応じて順次駆動させて記録を行う記録装置は、

前記ブロックにおいて同時に駆動される記録素子数と所定の閾値とを比較する比較手段と、

前記比較手段による比較の結果に基づき、記録素子が前記所定の閾値を越えて同時に駆動された駆動回数を計測する計測手段と、

前記計測手段により計測された駆動回数に基づき、基準となるパルスデータに補正パルスデータを加算して、パルス幅を補正した駆動パルスを作成する生成手段と、を有することを特徴とする。